

『ENE-WAY 2004』開催される

去る8月2日(月)～4日(水)の3日間、名古屋市の吹上ホールにおいて、当社は中部地方電気使用合理化委員会と共催で、『ENE-WAY 2004』を開催いたしました。

エネルギー利用に関する多様なニーズに応え、お客さま一人ひとりのビジネスをサポートしたいという思いから、「We Assist You 電気がおりなす無限のストーリー」をキャッチフレーズに、コスト削減・電力の高品質化・環境対策・エネルギー設備管理などに関する最新技術や研究技術を幅広くご紹介しました。今回の展示会名称『ENE-WAY 2004』のWAYも、そうした思いを込めて命名しております。

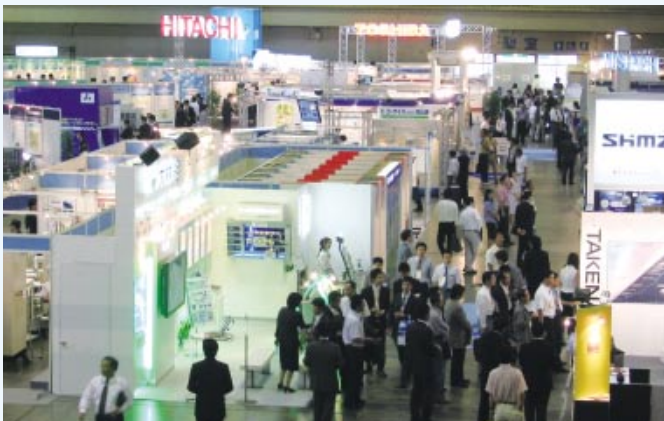
初日の一般開場に先駆けて行った『開場式』では、中部経済産業局・吉村資源エネルギー環境部長、中部地方整備局・田中嘗繕部長をはじめ、多くの後援・協賛団体ならびに出展企業(約45)の方々のご臨席をいただき、当社の川口社長が主催者を代表して開会の挨拶を行いました。

今回の展示会の特長は、お客さまに分かりやすい展示をしたいという思いから、発電・送電ゾーン、受電

ゾーン、提案ゾーン、実現ゾーンという4つのゾーンの流りで会場構成すると共に、会場中央にリフレッシュエリアを設置し、当社の研究開発を紹介した点であり、お客さまからも、『わかりやすい会場構成だった』とのお言葉を頂戴いたしました。

また展示ホールに隣接する別会場において、2日(月)には、(株)東芝事業開発推進統括部長酒井清氏による「エネルギーソリューションの視点から見るESCOの実態と変化」をテーマとしたセミナーを、また、4日(水)には、三菱化学エンジニアリング(株)理事、新事業推進室長鈴木克彦氏による「変貌する生産現場と産業安全の今後」をテーマとしたセミナーを開催し、約500名のお客さまに聴講いただきました。

3日間合計で、9,368人の来場者を迎えることができ、トータルエネルギーコストの低減や地球環境への配慮など、お客さまのエネルギーに対する意識の高まりのなかで、当社のソリューションに対する関心がこれまで以上に高まってきていることの表れという手応えを感じております。どうもありがとうございました。



会場全景風景



提案ゾーン



実現ゾーン



リフレッシュエリア